

# 委員会報告

## 一般会計予算決算審査特別委員会

平成28年9月14日・15日・16日の3日間にわたり開催し、付託された2議案について、関係部課長から細部にわたる内容の説明を求め、慎重に審議した結果、原案のとおり可決及び認定すべきものとして決定し、次のような意見書を提出しました。

1 議案第59号 平成28年度御前崎市一般会計予算の補正(第1号)について

【社会教育課】井伊直虎に関する観光支援事業については、速やかに担当課の整理一元化を図るよう求める。

2 認定第1号 平成27年度御前崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

【税務課】市税の徴収確保に向けて、公共事業及び物品の購入については優先的に市内から調達するよう求める。やむを得ず市外業者からの取引に対しては、市内への営業所設置などの促進について、担当課と合議のうえ推進するよう求める。

【秘書政策課】ふるさと納税については、近隣市と比べて著しく成果が上がっていない。については、より一層のふるさと納税の確保に向け、金券の発注などを勘案する中で事業推進を求める。

【防災課】熊本地震の教訓を生かして県の四次被害想定に対応すべく、住民の安心・安全の確保に努めるよう求める。

【商工観光課】プレミアム商品券については、市内経済活性化に向けての重要な施策であり鋭意取り組むよう求める。

【農林水産課】農業従事者確保のため、組合及び農業法人化に向け鋭意取り組むよう求める。

【都市建設課】防災対策に向け、無電柱化・主要避難道路の早期整備及び矮小道路の解消に向け鋭意取り組むよう求める。

【環境下水道課】旧御前崎地区における合併浄化槽設置事業は地区環境改善に有効な施策であり、国県の補助対象外にも市補助を拡大できるよう求める。

### 【教育総務課】

各学校の校内敷地の環境改善を行うよう求める。また、各学校のトイレ洋式化の早期整備を求める。

### 【給食センター】

多額な給食費の未収金の解消に向け、教育委員会をあげて取り組むよう求める。

### 【学校教育課】

学力については、年度ごと推移も含め詳細な学力報告を当委員会に報告するよう求める。

## 原子力対策特別委員会

平成28年9月20日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

### 1 原子力災害に係る広域避難計画について

原子力災害に係る広域避難計画の概要について、執行部より説明を受けました。

国は、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、原子力災害対策指針を定め、避難を開始する条件やタイミングなどの基本的な方針を示しました。市は、県と関係11市町と連携を図り、広域避難計画を策定しています。

計画の公表は平成29年3月を予定していますが、退域時検査場所や簡易除染の検査場所の候補地の確定、避難経路及び避難手段の確保における関係機関との協力体制の強化、避難経路での燃料確保、積雪の時期に長野県へ避難する場合の除雪対策、病院や社会福祉施設、学校等の避難計画策定の支援マニュアル整備など多くの課題が未決定であり、大変厳しい状況だということです。

2 中部電力(株)からの浜岡原子力発電所の状況について

現在、浜岡原子力発電所で進められている安全性向上対策工事の進捗状況の説明を受けました。その後、4号機のフィルタベント排気筒配管工事や海水取水ポンプの竜巻対策、クリアランス搬出待エリア、ポンプ等点検エリア、防火帯設置状況などを視察しました。



フィルタベント付近の視察

## 総合開発計画策定特別委員会

平成28年9月20日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

### 1 第2次御前崎市総合計画の財政見直しについて

今後の議論を進めていく上で財源の裏付けが必要となることから、6月開催の委員会で執行部に提示を求めたきた今後10年間の長期財政見直しについての資料が提出され、議論を行いました。

歳入については、将来負担も含めて適切に事業債を起こして起債残高を増やす工夫をする、国や県の補助金や交付金をもっと積極的に活用するなど、財政計画の見直しを求める意見が出されました。

### 2 火葬場について

南遠地区聖苑は昭和56年に供用を開始し、25年度から老朽化に対応するための耐震補強工事及び焼却炉補修工事などが実施され、現在に至っています。しかしながら、施設耐用年数の期限が迫っています。

このことから、市議会においても、火葬場については市単独で建設をするのか、現在の広域施設組合(御前崎市と牧之原市(旧相良町地区))で建設をするのか、議論を重ねてきました。この議論は25年度より進展がないため、早期解決に向けて、次のような申入書を提出しました。

## 申入書

### 火葬場単独運営について

御前崎市議会においては、標題について、本年4月改選前の総合開発計画策定特別委員会において長期間にわたり議論した結果、牧之原市との共同運営を解消し、単独にて設置運営をすることが決定しておりました。

今回、改選後の総合開発計画策定特別委員会においても、改選前の結論を尊重し、住民福祉向上に資するべく、牧之原市との共同運営を解消し、単独にての設置運営を強く求める。

平成28年9月30日

## 議員視察研修

### 総務経済委員会視察研修

平成28年7月12日～14日

#### 視察先及び視察内容

○奥州市役所(岩手県奥州市)  
・奥州市地域六次産業化ビジョン及び産業などについて

御前崎市は近年農業の担い手が減少し深刻な状況に直面し、荒廃農地も増加の一途であり、放置することは許されない状況です。総務経済委員会では、このような状況を打開すべく、6次産業化を積極的に進めている岩手県奥州市を視察しました。

奥州市は「食の黄金文化」と銘打ったビジョンを策定し、地域資源の野菜や米でまちを活性化に導いています。民間の発想を生かし、従来の枠にとらわれない事業を展開しています。地元食材を使った料理コンクールや試食会を開催し、その様子はブログやフェイスブックなどで紹介され、多くの人が奥州市を訪れています。



奥州市「食の黄金文化」PR トラシ

御前崎市でもお茶や米、魚、果物などを使った料理を広めていくことが求められます。幅広い民間人の知恵と工夫を生かす議論を巻き起こし、御前崎市を変えるきっかけになればと思います。

委員会でも引き続き議論をしていきますが、他市にはない事業を展開し、観光客から「最近の御前崎市は違うぞ」と言われるような、身近で魅力あふれる取り組みを進めていきます。

○気仙沼市内復興現場(岩手県気仙沼市)  
復旧・復興事業の取り組み状況について、復興現場を視察しました。



気仙沼市復興屋台村